

機械器具 (32) 医療用吸引器
 一般医療機器 吸引器用キャニスタ(吸引チューブ) JMDN 34858000

ハイフロー吸引キャニスタ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止。

【形状・構造及び原理等】

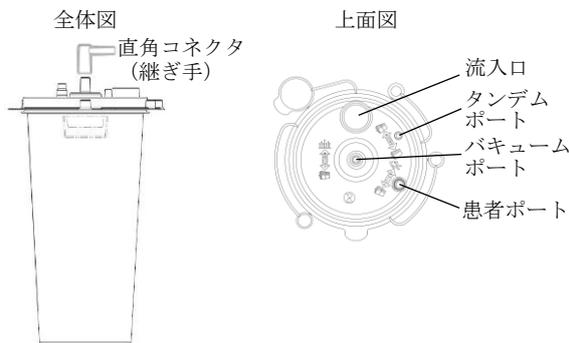
1. 構成

カタログ番号	製品名
7209824	ジャンパーチューブ 4本 回収バッグ付
72203257	ジャンパーチューブ 1本 回収バッグ付
72200024	3000cc キャニスタ

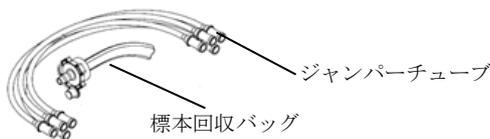
2. 形状

容量：3,000mL

<キャニスタ>



<ジャンパーチューブ・回収バッグ付(4本)>



3. 原理

吸引器から供給された吸引圧を利用することにより、キャニスタ内が陰圧になり、排液が溜まる。

【使用目的又は効果】

本品は、排液の回収と廃棄に用いる。

【使用方法等】

1. 術前

- (1) ふたを軽く振って、逆流防止弁が自由に動くことを確認すること。
- (2) ふたをキャニスタにはめて、しっかり閉める。
- (3) 直角コネクタ（継ぎ手）を患者ポート及びバキュームポートにしっかりと接続する。必要に応じて、直角コネクタ（継ぎ手）なしで直接チューブを患者ポートに接続することができる。
- (4) 使用しない場合には、流入口及びタンデムポートをキャップで確実に閉める。
- (5) 患者ポートとバキュームポートにそれぞれペイシェントチューブ、バキュームチューブ（いずれも別品目）をしっかりと接続する。
- (6) 吸引源のスイッチを入れ、指でペイシェントチューブをふさぎ、吸引漏れがないかを確認する。

2. 術後

- (1) 吸引源のスイッチを切り、全てのチューブを取り外す。
- (2) バキュームポートと患者ポートを付属のキャップで閉める。
- (3) キャニスタを廃棄する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- (1) 吸引圧は、84.7kPa(640mmHg)以下で使用すること。
- (2) 24時間をこえる連続的な吸引を実施しないこと。
- (3) 吸引圧が低下した場合は、吸引器が稼働していること、キャニスタが密閉されていること、全ての接続部が閉まり、チューブによじれがないことを確認すること。吸引圧の低下が続く場合は、キャニスタを交換すること。
- (4) 廃棄の際は、キャニスタのふたを持って持ち上げないこと。排

AS-B4GYN06(01)

- 液の重さでキャニスタからふたが外れてしまう場合がある。
- (5) 吸引ラインへの液体の浸入を防ぐため、吸引源からのチューブがバキュームポートに接続されていることを確認すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本品の目盛りは目安であり、正確な計測を行う機器ではない。
- (2) 脂肪吸引に使用することは推奨しない。
- (3) 回収物は汚染物として扱うこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

高温、多湿、直射日光及び水濡れを避けて室温で保存すること。

2. 有効期間

有効期間は自己認証データ(当社データ)による。有効期間については外装表示参照。

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：

コヴィディエンジャパン株式会社

カスタマーサポートセンター：0120-998-971